



ZIZI-YAMA

2017つれづれ日記



2017/9/18

原爆投下と同じ日に亡くなった  
義母の49日と納骨を済ませ  
義母の思いの振り返りに  
原爆ドーム  
原爆記念資料館を訪れた...  
あらためて思う  
核廃絶  
生きとし生けるもの  
すべての命を大切に！



2017/9/13

2017年  
京都のベランダ園芸  
グリーンカーテンのゴーヤ不作  
最後のゴーヤは5cm2個  
夏の終り  
顔は今日も54輪  
行く夏を引き留めるように咲いている



2017/9/9

9月9日  
重陽の節句  
母93歳  
息子68歳  
「もう疲れたけ～ね、はよ～向かえがぐりゃ～ええ～ねえ」  
そんなこと言わないで  
死ぬまで生きたい～よ  
そんなやりとりが



2017/9/7

虫の声  
ただリリリ、リリリと  
秋の声に  
東の空が白みゆく  
今日は晴れるな...  
リリリ、リリリ

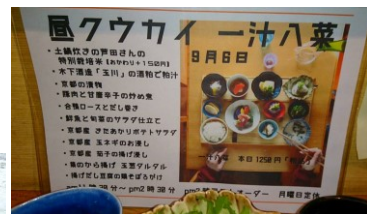


2017/9/6

秋雨の露が光る  
鴨川  
熱燗の季節になったと  
川面を見ると  
かも鍋の材料が群れていた

昼は  
合鴨のロースが一品にある  
クウカイの一汁八菜にした

今晩は熱燗かな  
肴は何がいいかな



2017/8/31

見上げると  
空は  
すっかり秋だった  
鱗雲が  
夏の終わりを告げている



2017/8/23

今日は水曜日  
毎週、大学病院作業療法の臨床作法の日  
ここに、最近変な生き物が出没

「あのさ！俺たちって何なのかな？」  
「えっ！お前もわからないのか？じゃあ、俺にもわからないな」  
「そうなのか！俺たちって何なのかわからないのか！」

「ここって、どこ？」  
「どこやろな？あの二本足で歩くやつがいるけど、よく転ばないな！」  
「ほんとやな！二本足で歩いてら〜」

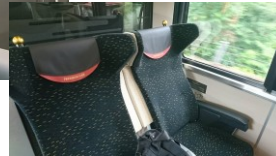
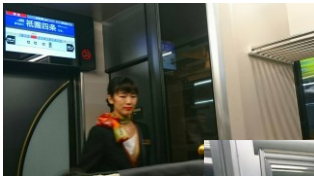
「おっかしいな！」  
「そ、そうか！」  
「でも、俺たちって、やっぱり何なのかなあ？」  
「何でここにいるのかなあ？」





2017/8/23

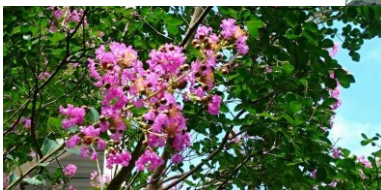
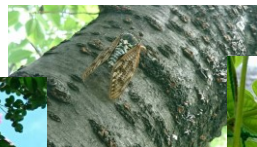
京阪電車、これまで特急に乗っても特急料金は要らなかったけど、特急料金を払うプレミアムカーが導入された  
 特急料金は乗車区間により300円～500円  
 3列のゆったり指定席  
 各特急に一两の編成  
 親切なアテンダントが案内...  
 大阪京都間一時間もかからないのに  
 荷物の多い海外客が増えたからかな



9

2017/8/17

五山送り火  
 燃え上がる松明の火が  
 京の夜空を焦がす  
 初盆の人たちを送り  
 残暑を残して夏がゆく  
 百日紅  
 セミ  
 白い朝顔  
 お義母さん！  
 お義父さんに会いましたか？  
 わたしの父にも会われたらよろしく  
 京の夏はまだ暑いですよ



2017/8/12

伏見酒蔵の町  
お盆の週なので精霊流し  
帰ってくる霊を迎え送る習わし  
森つるの焼き肉で身体の精霊流し  
酒蔵の町の流れに灯りが揺れる



2017/8/7

希望もない遺漏で寝たきりにさせられ  
娘の顔も忘れた  
アルツハイマー型認知症の義母が  
原爆記念の日に亡くなった

争末期  
後に毒ガス島と言われた大久野島で  
お国のためと学徒動員で働かされ  
何かわからないまま毒ガス製造に携わり  
戦後何の説明もないまま  
恩給が支払われ  
すぐれない体調の治療も無料だった

その義母が奇しくも  
原爆記念の日に亡くなったのは  
何かの因縁なのか  
お義母さん  
長い間、ご苦労さま  
お疲れさまでした

今日はペランダ園芸のゴーヤ初収穫  
京都はもうすぐ五山送り火  
初盆の義母にこのゴーヤを持たせよう



2017/7/29

フォレストイン昭和館の  
プライベートフォレスト  
ベンチのある入り口から  
「ハチやヘビに注意」の注意書きを横目に  
針葉樹のチップの上を歩く  
ヘビはいなかったがトンビに出会った

この深い森には  
まだ紫陽花が咲いていた

一時間あまりの歩きの後  
しっかり朝ごはん  
今日は1日昨日の学生研修に続いて  
臨床家の夏期研修  
夕方から明日の午前中事例検討  
三泊四日の臨床作業療法夏期研修は続く



13

2017/7/26

今日も暑い日だった  
こんな日は  
えっ？  
いつものハイボールバーか  
ですって？

いやいや  
京都 送り火前  
ねっとりまとわりつくような暑さ  
スッキリ流すには  
夏限定 伏見夏酒

それではと  
伏見は大手筋、油長へ

あまりに暑くて人影のないカウンター  
限定の夏酒六種  
肴はフキ味噌、豆腐、酢ゴボウ





2017/7/25

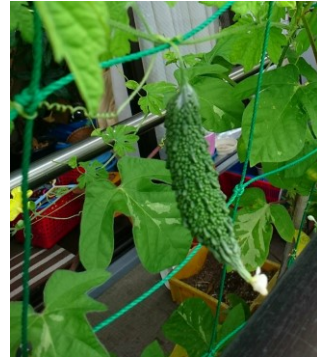
祇園祭が終わり  
五山の送り火を待つ京都は  
極暑の夏

送り火にあわせるかのように...  
白い朝顔が咲き始め  
お供えにとゴーヤが実を結ぶ

宇治川の支流  
自宅前の山科川も  
カエルたちの恋の季節が終わり  
川岸で秋の虫が恋の語らいを始めた  
あなたの今年の夏の恋はどうでしたか

送り火のように胸焦がす熱い恋？  
それでも木漏れ日の語らい？  
哀しみを鴨川の流れに流す涙の恋？

ああ、そんな恋をしたのはいつだったのだろう  
と、昔を思う歳を重ねた



2017/7/10

今日は  
大輪の朝顔といっしょに  
ゴーヤの黄色い花が咲いた

数日前に咲き終わったと思われるゴーヤが...  
小さな実をつけているのを見つけた

今日も熱くなりそう



2017/7/10

日中は30度を越える京都の夏も  
まだ朝日が上がる前は爽やか  
ベランダ園芸の植物たちが  
御陵の風に生き生きと

今朝は大輪の朝顔が二種類  
ゴーヤはこれからかな

音の少ない朝のこの時間  
始発の電車が走る音が遠くから聞こえる  
今日も熱くなりそう  
そして夕方には  
また、もう夕立とは言えない  
スコールのような雨が降るのだろうか

月曜の朝  
さあ、朝刊を取りに行って  
あさげの用意だ



2017/7/7

梅雨の晴れ間  
夏雲くっきり  
川風に涼を求めて  
鴨川に  
猫がついてきた

いつもより水の流れが多く  
跳び石は水の中





2017/7/4

梅雨のしとしとを  
遠い町と町  
縁結びのように行き来する電車が  
鉄橋を渡る

露草  
紫陽花  
梅檀のエメラルドグリーンの実

水かさの増す  
淀川の河川敷で  
蕨が

やったね  
今夜は蕨のお浸しで一杯



2017/6/27

急性期作業療法  
まだ病状の影響があり  
細やかなスタンピングや着彩ができない人に  
スタンピングの打ち損ないや  
はみ出た色をそのまま作品にする  
「あはっ、うまくできないって思ったけど、こうすればいいのね」  
さりげない工夫が  
病いのこわばりをほどく  
失敗を失敗に終わらせない工夫  
そうしたさりげなさが作業療法のコツ  
日々の暮らしの視野を広げる  
暮らし方にゆとりをもたらす



2017/6/23

この時期になると  
自然に足が大原の里に向きます  
三千院の石組みに  
ユキノシタが静かに咲いていました

キノシタをみると  
母がこの葉をテンブラにしていたのを思い出します  
子どもの頃は自分の家が貧乏だから庭の葉っぱを食べなければいけないのかと寂しい思いをし、「どうしてうち庭の葉っぱを食べなければいけないの?」と聞いて母を困らせたことを思い出します

ユキノシタの天ぷらご山野草の料理のひとつと知ったのは還暦を過ぎてからだった  
母には辛い思いをさせたと思う  
母の、何も言わずに寂しそうにしていた顔を思い出します  
本当にお金がなかったから何も言えなかったのだと思います

石組のユキノシタを通りすぎ  
宝泉院に  
いつものように抹茶とお菓子をいただいて  
静かにエボケーの時を過ごす



2017/6/22

昨日の雨があけ  
伏見酒蔵の水路まであしを伸ばす  
水路の紫陽花は今が盛り  
酒蔵と紫陽花  
十石舟がユラリ



2017/6/21

空梅雨が終わり  
遅ればせの恵みの雨と思ったら  
恵まれ過ぎて多過ぎて  
いつもは川底の見える山科川  
あふれて水かさ増しが止まらない

サツマイモが小さな命を主張する



2017/6/21

空梅雨が終わり  
遅ればせの恵みの雨と思ったら  
恵まれ過ぎて多過ぎて  
いつもは川底の見える山科川  
あふれて水かさ増しが止まらない

サツマイモが小さな命を主張する



2017/6/17

札幌着  
イエローのスターウォーズ便で  
「作業療法臨床の知」北海道上陸

13:30～17:30  
心ある若い力で  
新たな知の開拓が始まる



25

2017/6/17

五月晴れの  
京都から札幌に移動中  
北の大地で  
作業療法臨床に携わる  
若きセラピストの学びの会に招かれ

転換期における  
これからの作業療法について語る

一昨日、長男夫婦から  
父の日を祝ってヒマワリが贈られてきた  
花言葉はadoration  
こそばゆい





2017/6/15

山吹や宇治の焙炉のにほふ時  
と芭蕉が詠んだ  
創建1200年の三室戸寺

山吹の見ごろが過ぎて紫陽花の季節...  
庭一面  
10000株の紫陽花が  
静かに咲き始めた  
青と白が鮮やか  
花の茶屋で  
抹茶ワラビもちパフェ



2017/6/14

日差しが強まる梅雨の晴れ間  
木屋町通り  
水面に映る空の青さか  
紫陽花か

高瀬舟浮かぶ疎水をぬけ  
水面川岸の鴨川を歩々  
祇園祭のもうすぐ  
コンチキチンの鉦の音



2017/6/10

障害があっても町で暮らす  
土の会活動を始めて46年あまりになる

会の牽引者  
重度の脳性麻痺があり  
福祉を護れと闘い続ける  
木村浩子さんの出版記念が  
明治大学アカデミーコモンであり駆けつけた

障害があっても町で暮らす  
自分の生き方のルーツを  
あらためて振り返りながら  
帰りの新幹線  
出版された句集に  
乾杯のビア

自分の生き方の  
一つの括りももうすぐ  
「ひとと作業・生活」研究会第1回学術集会



2017/6/10

雨の水曜日  
毎週の大学病院神経科神経科  
ボランティアOT

「雨だね」  
どうにもしようがないことって  
そのまま受けとめるほうがいいのかな  
そんな話を「雨だね」に重ねて

話している間の手悪さが  
二体の握り仏に



2017/6/10

ベランダ園芸で育ったエンドウ豆  
少し小さめだけど  
ブクブクしっかり  
今日は晴れ



2017/6/1

梅雨入り前の  
五月晴れ  
近江の棚田米を買いに  
琵琶湖西の雄琴に

雄琴温泉のかけ流し足湯  
照明灯の傘の上で  
ツバメが子育てをしている  
足がぼかぼか  
ボートと過ごして  
ついでに琵琶湖東の信楽に  
タヌキは暑そうだった



2017/6/1

昨日までの雨が上がり  
運動会日和  
小学校に入学した呉の  
初めての運動会

カー杯頑張るはカッコいい  
と、校長先生のあいさつ

しっかり頑張れと  
エールをおくって  
ZIZIは  
認知症ライフパートナーの研修に



33

2017/5/24

話せないと言う人の  
止まることのない話を  
延々80分

その後  
疲れているのに休めないが  
どうしたらいい  
という女性の話を20分

一息つく間もなく  
「まあ、久しぶり、覚えてますか？」  
3年ぶりに入院  
という人の話を15分

陶芸の粘土をさわりながらの  
本日の  
K大病院精神科OT  
ボランティアを終え

心身に滞っているものを  
家に持ち帰らないための  
いつものサントリーバー  
山崎ハイボール

レディバーテンダーが手際よく  
二杯目は  
「首折り男のための協奏曲」を肴に  
モルツ

さあ帰るかな





2017/5/22

ベランダ園芸の  
植物たちが  
それぞれに

グリーンカーテンのエンドウ豆...  
アジサイの花芽  
小さな赤いミニバラ輪  
二十日大根  
実生の銀杏寄せ植え盆栽仕立て

みんなツヤツヤイキイキ



35

2017/5/22

晴天  
二泊三日の2017大分熊本山根整最終日  
ほもとツーショット  
朝粥朝食  
しっかり食べて快調

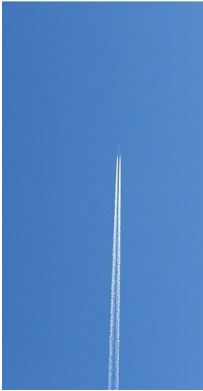


2017/5/17

2017山根塾  
大分塾のスタッフの運転で  
今日の開講地熊本に移動中

昨日の雨が上がり光り輝く若者の頭と  
飛行機雲が蒼空に咲く  
後100km

午後は熊本で塾開講



37

2017/5/7

5月の連休が終わり  
週明けからの  
京都に研究指導と  
臨床サポートの準備のために  
大学出勤

...もう5月  
鴨川に  
恒例の電線雀遊びが今年もはじまり  
川床が賑わいはじめた



2017/5/5

爽やかな  
爽やかな  
初夏の訪れ

ベランダ園芸の  
レモンバームが新芽をだし  
二十日大根は  
三度目の収穫

一粒の種から  
こんなになるなんて  
不思議だ  
その育ちをいただいて  
生きている



2017/5/2

広島義母を見舞って、帰りに宮島に来ました。



2017/4/30

母が住む町の海  
日本海  
この海に生まれ  
この海と川と山で育った

海に向かい  
海風に吹かれて時を忘れる  
海沿いの町はツツジが花盛り  
もう、代かきの季節  
義弟が苗代に水をはる

母の海 日本海の浜は  
昔から漂流した者が流れ着く浜  
この浜に住む人たちは  
流れ着いた者を助け  
助けられた多くの者は  
この地に住み着き  
大陸の文化を伝えた

そうした昔からの  
人びとの営みを  
知ってか知らずか  
今はかの国で捨てられた  
プラゴミが流れ着く

汚さないでください  
この澄みわたる母の住む町の海を汚さないでください  
母さんありがとう、さようなら  
また、帰って来るからね！



2017/4/30

広島義母  
原爆の影響で延命治療第一  
転倒骨折で入院し  
遺漏にするかどうかを問われ  
家族会議で  
痛みを止めたらそのまま自然にと望んだら  
担当医から自殺幇助罪で訴える  
しないなら、病院を探せと言われた

義姉は泣く泣く了承  
直接胃に栄養を  
注入されるようになってもう三年  
食を味わったのしみを奪われた食事  
生きるってなんだろう？





2017/4/29

母の住む町  
裏山で鶯  
代かきが終わっ苗代  
水がはられた苗代に蛙...  
水澄まし  
アメンボウ  
小さな虫たちを狙う  
ゴイサギ  
コサギ  
シラサギ  
母の住む町の空気に包まれ  
身体から  
すべての余分なものが洗い流され  
澄んでいようだ



2017/4/28

老いた母  
もうこれが最後かと  
母が住む田舎の町に向かう  
  
田舎町の特急電車は...  
指定席と自由席の二両立て  
  
車窓を流れる景色が  
思い出の風景になる  
  
山頂の石垣だけが残る城跡  
お稲荷さんで人が賑わう  
津和野の神社  
後一駅で母が待つ家  
  
おーい、母さん帰ったよ  
「よー帰った」の母の涙  
つられる涙を飲み込んで  
笑ってよと言ったら苦しい  
  
昨夏の転倒骨折後  
入居デイサービスで暮らし  
母の移動は介護タクシー



2017/4/19

女人堂で  
役行者にご挨拶して入山  
足下は桜道

参道を上醍醐に  
一時間半と言われたが  
椎間板ヘルニアの名残もあり  
二時間弱

雨上がりの醍醐寺山頂から  
遠く阿倍野ハルカスが見えた  
日頃の行いの良さ



2017/4/14

今年も  
18年前に院庭で拾って  
患者さんたちと鉢植えし  
実生で育てた銀杏が  
小指の先っぽのような...  
芽吹きを

プランターには  
少し前に蒔いた  
グリーンピースが芽を出し

この小さな命の芽吹きが  
陽と水とともに  
育っていく

病める者にも  
病まぬ者にも  
老いた身にも  
若さの身にも

春は命の芽吹きをもらし  
夏から実りの秋へと  
命の紡ぎを続けてきた



2017/4/11

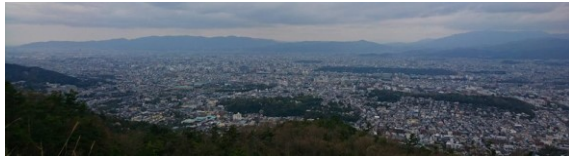
拾円塾番外編課外プログラム

京都トレイル蹴上一大文字山コース  
三条京阪蹴上駅から  
赤レンガのトンネルねじりまんぼをぐり抜け...  
インクライン沿い  
途中から日向大神宮に向かう

大神宮の境内を通り抜け  
大文字山山頂を越えると  
送り火大文字の火床に出る

火床に沿って階段を下り  
銀閣寺山を抜けると銀閣寺

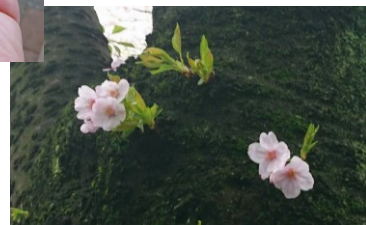
このトレイルコース11km  
都合で参加できない数名を除き  
20代から60代の7名が参加  
道に迷いながら  
大文字山山頂での  
お昼ご飯休憩をはさみ  
5時間で完走



2017/4/8

桜の古木が満開  
隅田川が桜川に  
風に吹かれて舞い降りる桜  
手のひらに受け

この花のように  
潔く括りたいと思う  
十日あまりで六十八





2017/4/7

桜満開の上野国立西洋美術館  
デンマーク友好150年  
シャセリオー展

特別展から常設展...  
モネの睡蓮を見て  
美術館のレストラン睡蓮

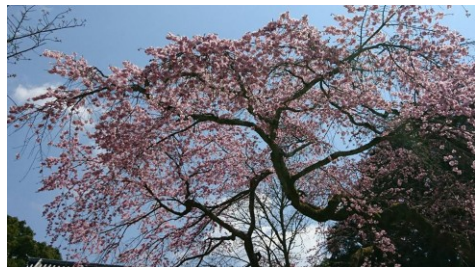


2017/4/5

例年より遅く  
醍醐寺の桜が咲き始め  
ラッシュアワーなみの人混みを避け  
上醍醐に向かう

女人堂前まで来ると静寂  
上醍醐入口の五仏  
中が弥勒菩薩左が理源大師右が役行者  
不動明王、地藏菩薩がその両脇に

お山を降りて  
仁王門前を北にすこし歩くと  
醍醐五門跡の一つ理性院  
門をくぐると  
赤い凝掛けの千体地藏  
桜の見頃はこれからか





2017/4/5

例年より遅く  
醍醐寺の桜が咲き始め  
ラッシュアワーなみの人渦を避け  
上醍醐に向かう

女人堂前まで来ると静寂  
上醍醐入口の五仏  
中が弥勒菩薩左が理源大師右が役行者  
不動明王、地藏菩薩がその両脇に

お山を降りて  
仁王門前を北にすこし歩くと  
醍醐五門跡の一つ理性院  
門をくぐると  
赤い涎掛けの千体地藏  
桜の見頃はこれからか



2017/3/29

昨年もこの時期  
カラスの豌豆のピンクの花に会った  
地中海生まれ道端育ち  
花言葉は  
「小さな恋人たち」「喜びの訪れ」

そのピンクの周りには  
黄色の野の菜花が群れていた

菜花から目を移すと  
白や黄色の西洋カボチャタンポポ

春はもうそこに  
カラスの豌豆少し摘んで  
天ぷらにしてみよう  
タンポポの若葉も一緒に

みなさんも  
春を食べてみませんか



2017/3/21

春のお彼岸  
京都の桜開花の便りはまだだが  
瀬田の石山寺は  
早咲きの八重が盛り

お彼岸の  
一汁八菜も  
春の香がいっぱい

午後の仕事がないので  
初絞り生酒  
これもいい香り  
食後のデザートはマンゴーアイス  
思わず頬がゆるむ

ふふふ.. ふふふ..  
春のお彼岸の  
ゆったりお昼でした



53

2017/3/15

雪解け  
水位のあがった琵琶湖  
貯水調節で宇治川へ  
水かさが増し  
リウリウ  
リウリウと流れる宇治川

三寒四温の  
寒の隙間の小春日和  
川風ぎの風に  
菜花が  
川岸に寝転んで  
うとうと  
うとうとぼんやり



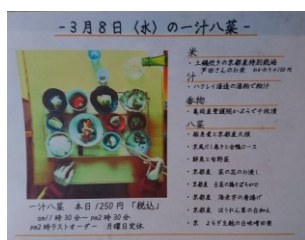
2017/3/9

新版「精神障害と作業療法」が編集最終段階  
 3月15日に見本刷り上がりと同時に発刊  
 社会脳や動的平衡などの新たな視点  
 障害の受容は誰が何を受容するのか  
 本当にできるのか...  
 作業療法の原理から哲学的視野まで  
 今だからこそ言える  
 今だからこそ言わなければならないものの  
 言語化を試みたものです



2017/3/8

桃の節句も過ぎ  
 一汁八菜のお店の献立も  
 春の彩りと香りが  
 菜花  
 ほうれん草  
 春大根  
 亀岡産聖護院カブラの千枚漬け  
 野菜はみんな春の京野菜  
 海老芋の唐揚げ  
 白菜の鶏そぼろ煮  
 宮津の鱈はお造り  
 蓬生麴の味噌田楽  
 3月8日レディースデーの  
 一汁八菜は春





2017/3/5

日本で初めての  
園芸療法の専門職を育成する  
淡路警官園芸学校  
阪神淡路大震災を機に  
兵庫県が1999年に設立

設立時から  
リハ専門職の立場から  
カリキュラム組み立てや  
教育研究支援

昨日、本年度最後の特別講義  
同日、新年度の入学発表  
「控えめ」というか花言葉をもつ

ワビスケが静かに香る林道咲いていた  
超がつく高齢化を迎え  
高齢者のリハビリや生活支援に  
植物や植物が生きる環境



2017/2/28

もう二月が終わる  
初めての女の子ミチルが生まれて六ヵ月  
シンガポールに帰って  
ミチルは  
いっしょけんめい寝返りの練習...  
もうすぐだな  
子どもの成長は早い  
急性期のパレレルで生まれた  
ネコたちも  
もうすぐ桃の節句と  
ニャー にゃー ニャン にゃん  
ネコたちは恋の季節かな





2017/2/26

第4回京都府作業療法学会ご終わった  
運営委員のみなさんご苦勞様でした  
これからですね

京都府士会に限らず  
作業療法全体が  
社会的認知の広がりと  
入院医療中心から  
地域生活中心へと転換期にある

法人化され  
京都作業療法士会は  
これまでと違って  
公的な責任が問われるようになった

自由な一作業療法士に戻って  
初めての地域学会の参加で  
いろいろなことを考えた

そのいろいろなことを  
日常に持ち帰らないために  
立ち寄った  
いつものエビスバー

琥珀エビス  
エビスマイスター  
仕上げるデザートビアは  
京都らしく  
抹茶のビアカクテル



59

2017/2/21

酒蔵の中にあるBar  
酒蔵の戸をくぐる  
甘い新酒の香りが鼻孔...を撫る

Barのカウンター越しに  
ガラス窓から仕込み蔵が並ぶ  
小さな手造り蔵  
銘柄は蒼空一つ

純米生酒美山錦は絞りたて  
純米吟醸酒雄町は試験醸造絞りたて  
純米大吟醸酒山田錦は定番  
純米酒美山錦おりがらみは新酒  
鴨のスモークと相性がいい

ほんまに不器用なまっすぐな男や  
それをわかってくれる  
菩薩の手のような女性がいって  
よかったよかったと  
一人飲む

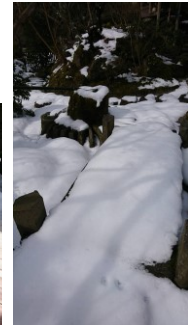


60

2017/2/14

大原三千院奥  
雪の宝泉院  
樹齢七百年の五葉松が  
いつものように静かに

お茶をいただき  
水琴窟の音に耳をすます



2017/2/13

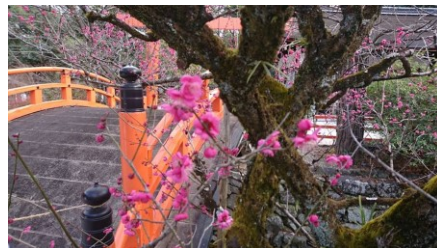
二月の拾四日は  
下鴨善部町  
風は冷たいが空が気持ちいいので  
下鴨神社の糺の森を歩く...  
御手洗川(みたらしがわ)の  
紅梅が静かに香る

世界遺産  
自然林のような糺の森の入口近くに  
神々のなかで日本一美麗という  
神が祭られている河合神社がある

もう神頼みも？という妙齢のご婦人から  
うら若き乙女まで  
飲すと美人になるという美人水  
洗顔するとゆで卵のように  
ツルリと美白になる石鹸を求めて  
全国津々浦々から参拝  
みなさんうっとり美人水を飲んでる

鏡に貼って  
毎日その鏡を見ると  
美人になるという  
シールまである

神様も  
商売上手だね  
信じるものは救われる



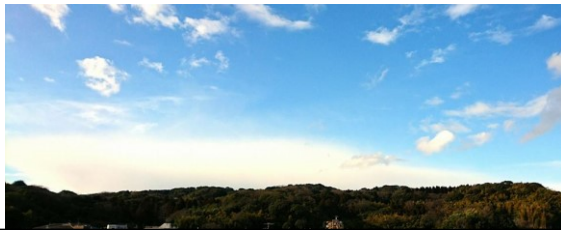
2017/2/10

立春(はるにたつ)  
すべての命のいとなみが  
あらたな芽吹きの前  
静かなひととき

大寒の時空のなかで  
削ぎおとされ、削ぎおとされ  
簡素なまでに簡素な、静寂  
明るく削ぎおとされた、静寂

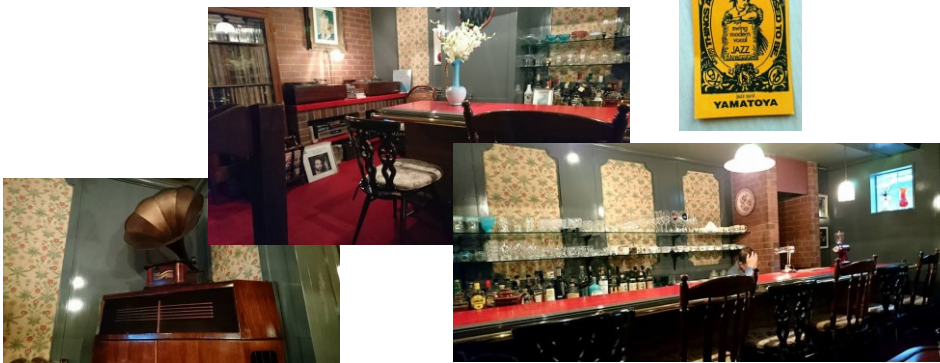
その静寂は  
すべての命の芯

凜と鎮まる寒気が  
身も心も引き締める



2017/1/28

松井紀和先生を囲んでさまざまな職域の専門職が集まり  
グループダイナミクスの研究会を毎年1~2回開くようになったのが昭和の終わり  
あれから30年あまり、今回、最終回を京都で開くことになった。  
その準備の合間、大学の近く、ジャズファンなら知る人ぞ知る、老舗のジャズスポット  
YAMATOYAに  
タンノイの据え置きスピーカーから流れるのは60年代のジャズ...  
すべてはLPレコード、何千枚あるのか、マスターが一杯づつグラウンドして いれる  
コーヒーとジャズシャワー  
時間が止まる京都の隠れ家の一時、今日、研究会30年の幕が降りる



2017/1/20

小寒をすぎ  
水ますます凜と清み  
酒の仕込みの季節  
伏見の各酒蔵から  
初絞りのにがりがそろい  
さて、今日は大寒  
新酒初絞りの味くらべ  
伏見は太手筋油長  
まず希少六種の聞き酒  
今年のできよし  
桃の滴の新製品に出会う  
「無何有卿(むかゆうきょう)」  
2016初仕込み年明け初絞り生原酒



2017/1/17

今日はフィビンの作業療法士マイケルが  
日本の作業療法がどのような歩みをたどって今の形になったのか  
また精神認知系作業療法の急性期から地域生活支援までのシステムなどを  
学びに京大に。  
精神科急性期作業療法を行っている作業療法棟やデイケア  
医学部附属病院のツアー  
時計台のある本部のレストランで総長カレーを食べたり  
冬の鴨川バードウォッチングなど案内の友紀としっかりと学んで  
しっかり楽しんで、充実した一日でした。  
また、いつでもおいでください





2017/1/16

雪雲でサングラスした  
白い太陽が

空を焦がした大文字を  
白く  
妖しく照らす

こんな日は  
ああこんな日は  
と...

気がつけば  
凍てつく鴨の河原

氷室の妖女の誘いか  
キリンブラウマイスターが  
雪のストールを脱いでいた



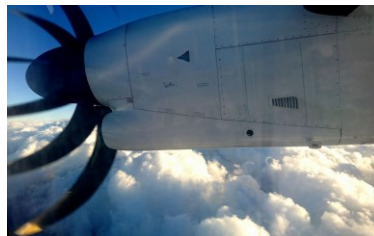
2017/1/14

この雪雲のなかで  
白銀のビール  
THE Karuizawa Beer Journey  
Premium  
に出会った

浅間名水シリーズ  
冬の新作  
冬紀行プレミアム  
上面発酵のエルビール

フルーティな香り  
空を飛びながら  
今年度最後の講義を終えて  
自分ご褒美の一杯

ああ！美味しい



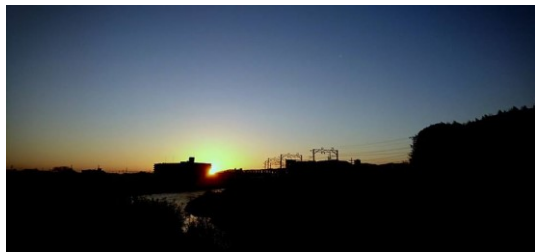
2017/1/9

子ども孫も  
みーんな男だったわが家に  
初めての女の子  
道琉(みちる)  
  
君が二十歳になるまで  
そしていい彼(ひと)に出会いまで  
素敵な家庭をつくる  
生きていたいな  
初参りの日



2017/1/6

しんと  
静まり更けゆく空が  
北斎が富嶽三十六景に使った  
紺青(プルシャンプルー)に染まる  
わずかな一瞬(ひととき)  
  
この一瞬が好きだ  
よく澄んだ冬の夕暮れ  
この一瞬が  
心身の疲れと汚れを  
深い漆黒の夜に消し  
  
また朝がきて  
新しい陽が昇る  
一日一日を生きる



2017/1/2

ジジのまごの丈です  
ジジとぎジンジャ(乃木神社)には  
つもうで  
しょうぶのかみさまのぎジンジャには  
勝ちま栗があるよ

ボクは可能性もちまぐります  
みなさまも  
ジジといっしょに  
ジンセイかちまぐりましょう

